

# ようこそ！リトルライブラリーへ

本単元で育成する「21世紀型スキル」

◎コミュニケーション力・表現力

## 1 単元設定の理由

【児童の実態】 たけのこ学級1名（5年女子1名）

### ①本単元にかかわる児童の実態

本児童は、人との関わりを楽しむことはできるが、慣れていない人へ自分から関わろうとすることができにくい。話しかけられると短い言葉で受け答えはするが、返答に困りそのまま会話が途切れ、相手が戸惑ってしまうこともある。慣れた人との会話においても、話の流れを考えず、急に自分の思いついた話題に変えてしまうことがある。本単元の活動にかかわる児童の実態は次のとおりである。

聞くこと・話すこと	読むこと	心理面
注意力が散漫で、聞き漏らしや聞き間違いがある。単語や短い語句での会話が多く、思いや様子を正しく伝えられないことがある。発音が不明瞭で聞き取りづらいことがある。	4年生程度の文章を読み、大まかな内容を捉えることはできる。知識や語彙、感情を読み取る力の乏しさ等から、細かい内容の理解は難しい。	初めてのことや見通しのもてないことに対して不安を感じる。できそうにないと感じることは取り組みにくい。

### ②学校図書館活用にかかわる児童の実態

事前アンケートでは「読書が好き」と回答しており、絵本だけでなく比較的長い読み物も楽しめるようになってきた。また、読む本の幅も広がっている。

### 【単元について】

本単元は、特別支援学校学習指導要領の自立活動の区分「6 コミュニケーション」の項目のうち「(5) 状況に応じたコミュニケーションに関すること」の内容に重点を置き、3(2)と6(1)6(2)を関連させて設定した。リトルライブラリー来館者のために本を選び紹介する活動を通して、場や相手の状況に応じて主体的にコミュニケーションを展開できる力を育てることをねらいとしている。リトルライブラリー来館者と直接やり取りすることで、自分の言葉を相手に分かりやすく伝えようとする意欲や積極性を高めるとともに、伝わりやすい話し方のスキルを育てることに繋がる。

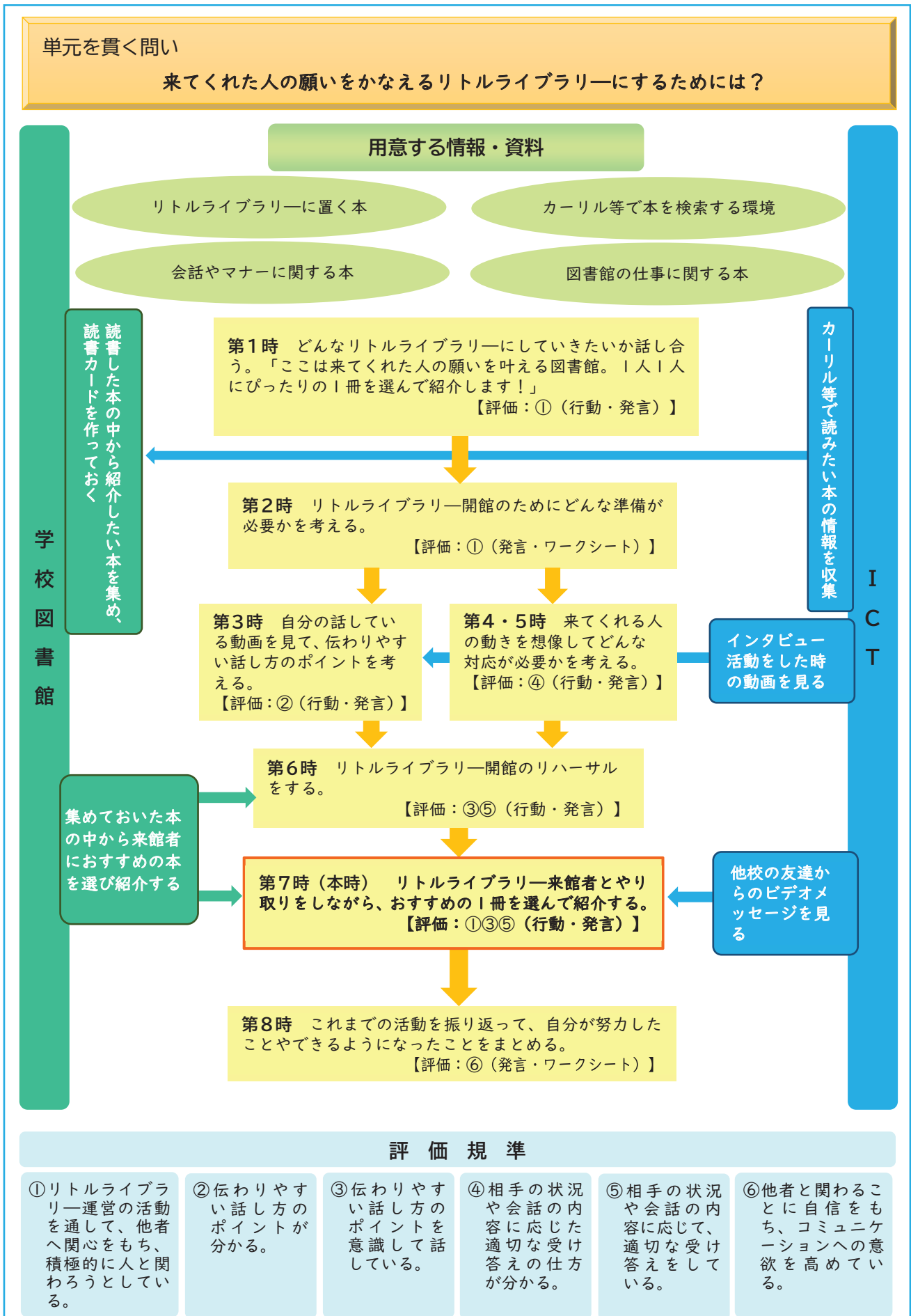
### 【指導に当たって】

- ・単元を通して児童は、リトルライブラリーの館長として来館者や他校の友達と関わり、「一人一人にぴったりの本を選び紹介する」という活動を設定することで、目的意識・相手意識を明確にもたせ、活動の意欲が高まるようにする。
- ・開館準備の段階で来館者の様々な動きを想像し、それぞれどんな対応をするとよいか考えさせる。具体的な場面での動きを考えさせておくことで、相手の気持ちや状況を推し量り、それに応じた会話や行動ができるようにする。また、自分が話している動画をもとに相手にとって伝わりやすい話し方について考えさせ、話し方のポイントを自ら見つけやすいようにする。
- ・来館者に選んだ本についての感想をもらい、共感や肯定的反応を得られる場を仕組むことで、児童の自己有用感を高め、人との関わりに自信がもてるようにする。

### 【単元の目標】

- 相手の状況や会話の内容に応じて、適切な受け答えをすることができる。 6(5)、3(2)
- 他者へ関心をもち、積極的に人と関わろうとすることができる。 3(2)、6(1)
- 伝わりやすい話し方のポイントが分かり、意識して話すことができる。 6(2)

## 2 単元構想図（指導と評価の計画）



### 3 本時の学習（本時7／8時）

#### (1) 本時の目標

- リトルライブラリー来館者から好きなことや関心のあること等を聞き、その情報を基に本を選び紹介する活動を通して、相手の状況や会話の内容に応じて、適切な受け答えをすることができる。
- 相手に関心をもち、積極的に関わろうとすることができる。
- 相手に伝わりやすい話し方のポイントを意識して話すことができる。

#### (2) 準備物

- 集めておいた紹介したい本と読書カード
- Chromebook（カーリルで本の検索ができるよう準備しておく）

#### (3) 学習の展開

学 習 活 動	指導上の留意事項（○）及び「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て（◆）	評価規準（評価方法）及び学校図書館・ICT活用のポイント
<p>1 本時のめあてを設定し、活動の流れを確認する。</p>	<p>○ぴったりの1冊を選んで来てくれた人に喜んでもらおうと投げかけることで、相手意識をもたせ、意欲を高めさせる。</p> <p>○視覚的に本時の学習の流れを示すことで、活動の見通しをもたせる。</p>	
<p>来てくれた人にぴったりの一冊を選び、紹介しよう。</p>		
<p>2 開館の準備をする。</p> <p>・3つのミッションとその対応について確認する。</p> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【3つのミッション】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①カウンターに来てくれた人に本を紹介する。</li> <li>②本選びに困っている人に本を紹介する。</li> <li>③お客さんからの質問に答える。</li> </ul> </div> <p>・相手に伝わりやすい話し方のポイントを確認する。</p> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【話し方のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明るい声で</li> <li>・顔を見て</li> <li>・はっきりと</li> <li>・反応（表情・言葉）</li> </ul> </div>	<p>○前時までの学習で図書館の仕事や来館者の動きを想像し、それぞれの対応について考えている。ここでは3つのミッションを必ず1回以上クリアすることを伝える。</p> <p>◆活動中分からないことや困ったことがあれば教師に尋ねたり助けを求めたりしてもよいことを伝えておく。</p> <p>○視覚的に示しておくことで、活動中児童が自分で確かめられるようにする。</p>	

<p>3 来館者を迎え、本を紹介する活動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開館の挨拶をする。</li> <li>・来てくれた人へ本を紹介する。</li> </ul> <p>【ミッション①】 「好きなものは何ですか。」 「動物が好きで犬を飼っています。」 「犬を飼っているんですか。いいですね。この本なら、かわいい犬がたくさん出てきますよ。」</p> <p>【ミッション②】 「本をお探しですか。」 「はい。料理の本を探しています。」 「では、こんな本はどうでしょう。この本は、・・・」</p> <p>【ミッション③】 「この本はどんな本ですか。」 「はい。この本は、・・・」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○細かく肯定的評価をし、やり取りに自信をもてるようにする。</li> <li>○花丸カードで来館者に対応した数を示し、意欲が持続するようにする。</li> <li>○リトルライブラリーにない本を探したい時は、カーリルで検索し来館者に伝えるようにさせる。</li> <li>◆必要に応じて操作を補助する。</li> <li>○選んだ本や対応の仕方に関する感想カードを来館者に書いてもらう。</li> <li>◆作っておいた読書カードを見て本を紹介してもよいことを助言する。</li> <li>◆活動中分からないことや困ったことがあれば、事前に考えていた対応の仕方を一緒に確認する。</li> </ul>	<p><b>学校図書館活用のポイント</b> 集めておいた本の中から来館者におすすめの本を選び紹介する。</p> <p><b>ICT活用のポイント</b> カーリルで学校図書館や市立図書館の蔵書を検索する。</p> <p>相手の状況や会話の内容に応じて、適切な受け答えをしている。 相手に関心をもち、積極的に関わろうとしている。 相手に伝わりやすい話し方のポイントを意識して話している。</p> <p>(行動観察・発言)</p>
<p>4 他校の友達からの依頼に応える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他校の友達からのビデオメッセージを見る。</li> <li>・友達の情報を基におすすめの本を選び、友達にメッセージを書く。</li> <li>・閉館の挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○交流していた他校の友達からの依頼を受けるという場を設けることで、意欲が持続するようにする。</li> <li>◆作っておいた読書カードを見ながら本の紹介文を書くように助言する。</li> </ul>	<p><b>ICT活用のポイント</b> 他校の友達からのビデオメッセージを見る。</p>
<p>5 学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○来館者に書いてもらった感想カードを紹介し、達成感を味わわせる。</li> <li>○児童の頑張りを称賛し、自信に繋げる。</li> </ul>	

#### (4) 板書計画

10/13 (金)

めあて

来てくれた人にぴったりの一冊を選び、紹介しよう。

うも喜  
!らん  
おで

学習の流れ

- ①めあて
- ②開館の準備
- ③リトルライブラリー開館
- ④振り返り

【3つのミッション】

- ①カウンターに来てくれた人に本を紹介する。
- ②本選びに困っている人に本を紹介する。
- ③お客さんからの質問に答える。

【話し方のポイント】

- ・明るい声で
- ・顔を見て
- ・はっきりと
- ・反応(表情・言葉)

自分から声をかける